

49・うんちでたー！

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

今回は、毎月園内で発行している園だより「はらっぱ（マガジン28号参照）」のコラムから選んで「幼稚園の現場」らしい姿をご紹介します(^o^)/



昼食後、デスクに向かって「あ～眠いなあ」と思いつつ仕事をしていると、廊下から「**Nちゃんうんちでましたー！**」と歓声が聞こえてきた。

Nちゃんが幼稚園のトイレで初めてウンチに成功した！という意味ですが、本人に喜びを伝えるだけでなく、周りにいるみんなにもウンチが出たことをスピーカーのようにアナウンスする。

さながら飲み屋で「ボトルご注文いただきましたー！」
「イエーイ！ありがとうございますッス!!!」のノリで
「**ウンチ成功しましたー！**」

「**イエーイ！おめでとございまーッス!!!**」って感じ(^_°)



こんな声が高らかに飛び交うのも保育現場だけでしょうねえ～…(^ ^;)ウケケ?

もちろん、先ほどのアナウンスを聞きつけた保育者は「**よかったね！**」を言うために、仕事の手を止めてわざわざお部屋に出向いたりする。

子どもといえば、成功したことが嬉しくて、毎回全員の先生に「**うんちでたヨ！**」と報告して回って、もれなく「**よかったねー！**」「**すごいね！**」と賞賛の言葉をもらって悦に入っていた。この行為は半月ぐらい続いたネ(^o^)



満3歳クラスや年少クラスで園生活を始めた子どもたちにとって、園でウンチを成功させたという出来事は、親や保育者にとっても嬉しいことだけど、本人も一人前になったような気になる、とても嬉しいことなのだ。

ウンチにしるオシッコにしる、園に来て何の苦も無くスムーズにできる子もいれば、なかなかできずに苦しむ子どもがいる。

この違いはなんなのか？

何か原因があるのかもはっきりしないが以前よりオムツを外す年齢が上がり、トイレトレーニングに苦労する子どもが多くなってきたのは実感している。(*1)

隣の保育園では2～3才のクラスでオシメを外せることを目安にしている。幼稚園では3歳で入園するので、イヤイヤ期と重なって抵抗感を感じるのか、または紙おむつの性能が良くなってきたこともひとつの原因かと思う。本来お漏らしした下着を着けていたら「不快」に感じて、そ

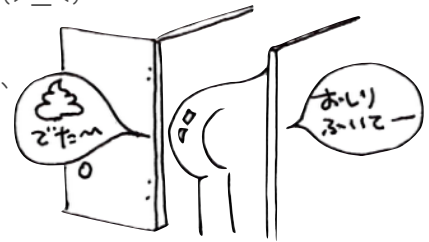
うならない行動（トイレで排泄する）を取らねばならないのだけど「快適すぎる」ためにその必要性に迫られていないのだとしたらお尻サラサラもよし悪しだねって思う。



ウンチやオシッコが自分でできるということは当たり前に出て当然、と思うかもしれないけど食事や衣服の着脱とともに『**基本的な生活習慣の自立！**』という人間生活のキホンのキホンとなるところだからおろそかにはできないのです。

だから園では大げさに見えるほど大騒ぎしてみんなで喜ぶ。友だちができたのに釣られて次に続く人を促す、という作戦もあるので、**呼び水ならぬ呼びウンチ**のようなニュアンスもあるのですがね。(>_<)

ちなみに、子どもがトイレから「**うんちでたー!!!**」と叫ぶのは、お尻拭いてー！という意味だし、失敗しちゃった時も同じ「**うんちでた〜!**」だね。



（*1）ネットで検索したいくつかの論文からわかったこと。

◇排泄の自立が遅くなってきているのは事実で、オムツ外しというより外れるのを待つ風潮、親の生活の変化（共働きなどで忙しい）紙おむつの普及などが原因と考えられること。◇ある論文では排泄の自立は年少児で幼稚園は保育園より2ヶ月遅れていることが調査からわかったそうです。◇紙おむつが排泄の自立に影響を与えているという研究は見つかりませんでした。紙おむつの使用感に関する内容や環境問題（ゴミ・プラスチック）についての論文等はあったのですが…。



原町幼稚園 園長 鶴谷主一（61歳） HP: <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>

* - *

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- 第1号 エピソード (2010.06)
- 第2号 園児募集の時期 (2010.10)
- 第3号 幼保一体化第 (2010.12)
- 第4号 障害児の入園について (2011.03)
- 第5号 幼稚園の求活 (2011.06)
- 第6号 幼稚園の夏休み (2011.09)
- 第7号 怪我の対応 (2011.12)
- 第8号 どうする保護者会? (2012.03)
- 第9号 おやこんぼ (2012.06)
- 第10号 これは、いじめ? (2012.09)
- 第11号 イブニング保育 (2012.12)
- 第12号 ことばのカリキュラム (2013.03)
- 第13号 日除けの作り方 (2013.06)
- 第14号 避難訓練 (2013.09)
- 第15号 子ども子育て支援新制度を考える
- 第16号 教育実習について (2014.03)
- 第17号 自由参観 (2014.06)
- 第18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09)
- 第19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12)
- 第20号 ITと幼児教育 (2015.03)
- 第21号 楽しく運動能力アップ (2015.06)
- 第22号 〔休載〕
- 第23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019
- 第24号 お話あそび会その1 (発表会の意味)
- 第25号 お話あそび会その2 (取り組み実践)
- 第26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える)
- 第27号 おもちやのかえっこ (2016.12)

- 第28号 月刊園便り「はらっぱ」 (2017.03)
- 第29号 石ころギャラリー (2017.06)
- 第30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09
- 第31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12
- 第32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03
- 第33号 〔休載〕 (2018.06)
- 第34号 働き方改革・一つの指針 (2018.09)
- 第35号 働き方改革って難しい (2018.12)
- 第36号 満3歳児保育について (2019.03)
- 第37号 満3歳児保育・その2 (2019.06)
- 第38号 プールができなくなる!? (2019.09)
- 第39号 跳び箱 (2019.12)
- 第40号 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 (2020.03)
- 第41号 コロナ休園 (2020.06)
- 第42号 コロナ休園から再開へ (2020.09)
- 第43号 ティーチャーチェンジ (2020.12)
- 第44号 除菌あれこれやってみた (2021.03)
- 第45号 マスクと表情 (2021.06)
- 第46号 感染予防と情報発信 (2021.09)
- 第47号 親子ソーラン節 (2021.12)
- 第48号 親子コンサート (2022.03)
- 第49号 うんちでたー! (2022.06)

▶気になる記事・ご感想質問等ありましたら気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp